



## わくわく集会～企画委員会～

今朝11日(木)のわくわく集会は、企画委員会が委員会の活動の様子を発表してくれました。企画委員会は、①わくわく集会について ②児童会目標について ③代表委員会について ④イベントについて詳しく教えてくれました。

①のわくわく集会の運営についてですが、集会に向けて、司会・はじめの言葉・インタビュー・終わりの言葉・誘導のそれぞれの役割を練習してわくわく集会に臨んでいるそうです。そして、話は心と目と耳で聞いて欲しい、インタビューではたくさん手を挙げて欲しいと訴えてくれました。

②の児童会目標ですが、「目標に向かって、共に励まし合い、役割ばっちり、わくわくする帯山西小学校」という目標はみんなアイデアを集約して作り上げたことや、体育館や正門前に掲示されていることを教えてくれました。そして、みんなに学校の目標である「わくわく」を目指していくことを鼓舞してくれました。

③の代表委員会は、学校全体の意見を集約し、児童会の方向性を示したりきまりを決めたりします。代表委員会は学級会と同じ様に、司会グループを決めて、準備をしています。そして、決まったことは放送などで企画委員長が知らせるようにしています。また、代表委員会の前には、議題用紙を各学級に配付し、学級で話し合って代表委員会に臨んで欲しいことも伝えてくれました。「もしかしたら、あなたの意見が学校のために役立つかもしれません。」という言葉にあったとおり、子供たちのアイデアが生かされる学校を目指していきたいと思いました。

④のイベントですが、企画委員会はわくわく集会、全校かくれんぼ、お別れ集会、たてわり集会などのイベントを企画しているそうです。今年も、もっとレベルアップして、わくわくするイベントを目指していくということで楽しみですね。

集会最後の感想交流で、1年生は「👀 帯西グリーンの心が伸びました。それは、みんなと仲良く静かに聞いたからです。」、3年生は「👀 帯西レッドの心が伸びました。わけは、企画委員会の人々がわくわく集会の準備をしてくれていることがわかったからです。」、5年生は「👀 帯西イエローの心が伸びました。わけは、児童会目標など、企画委員さんが考えてくれたことを知って、もっと積極的に発表しようと思ったからです」と述べると、企画委員長の平井さんが「皆さんが企画委員会のことをよく知ってもらえてとても良かったです。去年より進化した全校かくれんぼやイベントをしていきますので皆さんの参加とご協力お願いします。」と返し感想交流を締めくくりました。企画委員会の活動は、子供たちが主体となって、学校全体を動かしていきます。今後も子供たちの柔軟な発想力で、帯西の学校生活の充実と向上のために、「わくわく」する学校文化を築いていって欲しいと思います。

